

令和 7 年度 沖縄ライフサイエンス研究センター指定管理者制度運用委員会
におけるモニタリングの検証結果について
(令和 6 年度実績分)

1. 施設名：沖縄ライフサイエンス研究センター
2. 開催日時：令和 7 年 8 月 5 日（火） 13:30～15:30
3. 開催場所：沖縄ライフサイエンス研究センター 会議室
4. 出席者：委員 4 人中 4 人出席
(会長) 琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授 新里 尚也
(委員) 津嘉山かおる税理士事務所 税理士 津嘉山かおる
(委員) 沖縄科学技術大学院大学 施設管理セクションリーダー
施設保全スペシャリスト 當間 淳二
(委員) 株式会社沖縄 UKAMI 養蚕 専務執行役員 岡松 滋美

(事務局) 科学技術振興課
(指定管理者) イノベーションサポート沖縄株式会社
5. 検証事項：沖縄ライフサイエンス研究センター（令和 6 年度実績）に係るモニタリングの実施結果
6. 検証内容
 - (1) モニタリングは適正に行われているか
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
 - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
7. 検証方法
 - (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
 - (2) 委員からの質疑・意見
8. 検証結果
施設の管理運営は概ね適切になされている。
9. 主な質疑・意見
 - (1) (意見) 収支状況について、事務局から「モニタリングシートは消費税込みの金額で記載されており、収支が黒字となっているが、指定管理者からは消費税抜きの金額で積算すると赤字になるとの説明を受けている」との報告がありました。モニタリングシートの支出項目「租税公課」に消費税（中間納付額および未払い消費税）を含めて記載することで、このような状況が改善されと考えられます。財務状況の評価については、「租税公課」に消費税を追記し、積算した金

額を基に行うことが適切であると考えます。

(回答) 委員の意見を踏まえ、モニタリングシートを修正し、改めて評価を行いました。

- (2) (意見) 中長期的な修繕計画を策定したり、大規模修繕を実施する際には、指定管理者に実際の老朽化状況や使用頻度、メーカーの保守期間などを確認し、それらを踏まえて優先順位を検討する必要がある。

(回答) 中長期的な修繕計画の策定や大規模修繕の検討に際しては、指定管理者と連携しながら対応していきたい。

- (3) (質問) 施設の特性上、入居企業が研究に有害物質を使用する可能性が考えられる。排水処理施設への有害物質の混入を防ぐためには、入口側(利用者)での有害物質の管理が重要となる。

(回答) 指定管理者に対し、利用者による有害物質の適正管理が確実になされるよう、適切な措置を講じるよう助言・指導します。

- (4) (意見) 今年中に古い OS のサポート終了が見込まれます。測定機器に脆弱な古い OS が使用されている場合、ウイルス感染などによりネットワーク全体に悪影響を及ぼす可能性があります。このため、入居者にも注意喚起を行っていただきたい。

10. 会議の公開状況：公開